

日本療養病床協会 ソーシャルワーク部会アンケート 集計結果

実 施：平成 19 年 1 月

調査対象：日本療養病床協会会員 722 病院

回答総数：248 病院（回答率 34.3%）

施設用

1 - 1 病床数について

	平成 19 年			
	病床数	病院数	比率	平均病床数
総病床数	53,665	248	100.0%	216.4
介護保険病床総数	17,356	169	32.3%	102.7
（内訳）介護療養型医療施設	16,388	164	30.5%	99.9
（内訳）老人性認知症疾患療養病棟	538	5	1.0%	107.6
（内訳）経過型介護療養型医療施設	260	2	0.5%	130.0
（内訳）不明	170	1	0.3%	170.0
医療保険・一般病床総数	10,559	103	19.7%	102.5
（内訳）特殊疾患療養病棟 1	315	6	0.6%	52.5
（内訳）特殊疾患療養病棟 2	110	2	0.2%	55.0
（内訳）回復期リハビリテーション病棟	783	12	1.5%	65.3
（内訳）障害者施設等入院基本料	1,627	28	3.0%	58.1
（内訳）緩和ケア	270	9	0.5%	30.0
（内訳）上記以外の一般病床	6,319	73	11.8%	86.6
（内訳）不明	1,135	4	2.1%	283.8
医療保険・療養病床総数	20,289	218	37.8%	93.1
（内訳）療養病棟入院基本料 2	15,468	190	28.8%	81.4
（内訳）回復期リハビリテーション病棟	3,238	53	6.0%	61.1
（内訳）介護保険移行準備病棟	0	0	-	-
（内訳）上記以外の療養病床	1,018	14	1.9%	72.7
（内訳）不明	565	4	1.1%	141.3
医療保険・精神病床総数	5,353	26	10.0%	205.9
（内訳）老人性認知症疾患治療病棟	1,246	18	2.3%	69.2
（内訳）特殊疾患療養病棟 2	439	6	0.8%	73.2
（内訳）上記以外の精神病床	3,668	17	6.8%	215.8
医療保険・その他の病床	4	1	0.0%	4.0
不明	104	1	0.2%	104.0

*** 病床規模**

	平成 15 年		平成 19 年	
	病院数	比率	病院数	比率
200 床以上	98	36.6%	42	37.9%
100～199 床	118	44.0%	112	45.2%
0～99 床	52	19.4%	94	16.9%
合 計	268	100.0%	248	100.0%

*** 介護保険病床比率 介護保険病床数 ÷ 総病床数**

	平成 15 年		平成 19 年	
	病院数	比率	病院数	比率
50%以上	124	46.3%	87	35.1%
50%未満	144	53.7%	161	64.9%
合 計	268	100.0%	248	100.0%

1 - 2 【平成 15 年】施設の得意とする分野。(複数回答)

【平成 19 年】病院が力をいれている分野。(複数回答)

	平成 15 年		平成 19 年	
	病院数	比率	病院数	比率
1.在宅ケア支援	129	48.1%	100	40.3%
2.長期滞在	134	50.0%	87	35.1%
3.リハビリテーション	191	71.3%	177	71.4%
4.認知症ケア	48	17.9%	51	20.6%
5.特定疾患対応	57	21.3%	34	13.7%
6.その他	19	7.1%	27	10.9%

1 - 3 医療ソーシャルワーカー(MSW)の有無

* ソーシャルワーカー、医療福祉相談員、福祉相談係等を含む。

	平成 15 年		平成 19 年	
	病院数	比率	病院数	比率
1.いる	222	82.8%	225	90.7%
2.過去はいた	0	0.0%	3	1.2%
3.いない	42	15.7%	20	8.1%
無回答	4	1.5%	-	-
合 計	268	100.0%	248	100.0%

1-4 【“1-3”でMSWが「過去はいた」場合】過去にいたMSWは何年前までいたか。

	平成 19 年	
	病院数	比率
1. 半年未満	1	33.3%
2. 半年以上～1年未満	1	33.3%
3. 1年以上～1年半未満	-	-
4. 1年半以上～2年未満	-	-
5. 2年以上～3年未満	-	-
6. 3年以上～5年未満	1	33.3
7. 5年以上	0	0.0
合計	3	100.0

1-5 【“1-3”でMSWが「過去はいた」、「いない」と回答した病院対象】
相談の種類別の対象職種(複数回答)

比率は、1-3でMSWが「過去はいた」、「いない」と回答した 23病院 に対する割合

		平成 19 年					
		A. 受診相談	B. 入院相談	C. 入院時の 家族面接	D. 社会資源 相談	E. 退院相談	F. 問題発生 時の対処
1. 医事職員	病院数	12	8	9	12	5	8
	比率	52.2%	34.8%	39.1%	52.2%	21.7%	34.8%
2. 事務長	病院数	1	3	3	5	-	14
	比率	4.3%	13.0%	13.0%	21.7%		60.9%
3. 看護師	病院数	8	7	12	5	9	7
	比率	34.8%	30.4%	52.2%	21.7%	39.1%	30.4%
4. 看護師長	病院数	5	8	7	6	12	18
	比率	21.7%	34.8%	30.4%	26.1%	52.2%	78.3%
5. 医師	病院数	5	11	11	4	14	14
	比率	21.7%	47.8%	47.8%	17.4%	60.9%	60.9%
6. リハ職員	病院数	-	-	-	-	-	-
	病院率	-	-	-	-	-	-
7. 薬剤師	病院数	-	-	-	-	-	-
	比率	-	-	-	-	-	-
8. 栄養士	病院数	-	-	1	-	-	-
	比率	-	-	4.3%	-	-	-
9. その他	病院数	3	4	3	5	4	2
	比率	13.0%	17.4%	13.0%	21.7%	17.4%	8.7%

1 - 6 【“1-3”でMSWが「過去はいた」、「いない」と回答した病院対象】
今後のMSWの採用予定

	平成 15 年		平成 19 年	
	病院数	比率	病院数	比率
1.採用を予定している	2	4.8%	1	4.3%
2.採用を検討している	16	38.1%	9	39.1%
3.採用の予定はない	23	54.8%	12	52.2%
無回答	1	2.4%	1	4.3%
合 計	42	100.0%	23	100.0%

2 - 1

これからの療養病床の役割

以下は「平成 19 年」調査結果

	急性期病院では在院日数短縮のために行いきれない全身状態の改善、ADL向上のためのケア	
	病院数	比率
そう思う	201	81.0%
そう思わない	7	2.8%
どちらともいえない	28	11.3%
無回答	12	4.8%
合 計	248	100.0%

	入院が必要となった在宅療養患者の受け入れ体制を確立	
	病院数	比率
そう思う	206	83.1%
そう思わない	4	1.6%
どちらともいえない	23	9.3%
無回答	15	6.0%
合 計	248	100.0%

	医療が必要な長期療養患者のケアおよび終末期医療	
	病院数	比率
そう思う	223	89.9%
そう思わない	2	0.8%
どちらともいえない	16	6.5%
無回答	7	2.8%
合 計	248	100.0%

療養病床におけるMSWの役割

	医療区分の仕組みを十分理解し、患者・家族と病院をつなぐ入院受け入れ窓口業務	
	病院数	比率
そう思う	224	90.3%
そう思わない	1	0.4%
どちらともいえない	16	6.5%
無回答	7	2.8%
合 計	248	100.0%

	入院が必要となった在宅療養患者の受け入れ援助や治療終了後の退院援助（施設・グループホームなども含む）	
	病院数	比率
そう思う	237	95.6%
そう思わない	-	-
どちらともいえない	4	1.6%
無回答	7	2.8%
合 計	248	100.0%

	医療的ケアが必要な長期療養患者への生きがい、尊厳保持、QOL向上、家族支援等	
	病院数	比率
そう思う	196	79.0%
そう思わない	6	2.4%
どちらともいえない	27	10.9%
無回答	19	7.7%
合 計	248	100.0%

	地域連携の中核	
	病院数	比率
そう思う	206	83.1%
そう思わない	2	0.8%
どちらともいえない	22	8.9%
無回答	18	7.3%
合 計	248	100.0%

2 - 2 - 1 MSWの位置づけについて:「療養病床施設基準へのMSW必置の明記」に賛成か。

	平成 19 年	
	病院数	比率
1.はい	187	75.4%
2.いいえ	2	0.8%
3.どちらともいえない	51	20.6%
4.わからない	5	2.0%
無回答	3	1.2%
合 計	248	100.0%

2 - 2 - 2 診療報酬上、現行の任意設置の状況下で、MSW業務あるいは立場への不利益を感じたことがあるか。

	平成 19 年	
	病院数	比率
1.はい	92	37.1%
2.いいえ	75	30.2%
3.どちらともいえない	70	28.2%
無回答	11	4.4%
合 計	248	100.0%

2 - 2 - 3 MSWの必置実現によって、MSWは病院や患者家族に対してどのように貢献できると思うか。(複数回答)

病院に対して

	平成 19 年	
	病院数	比率
1.在院日数の削減	92	37.1%
2.病床稼働率の向上	153	61.7%
3.入退院調整の効率化	219	88.3%
4.診療報酬(1日当たりの診療報酬がより高い病床種別へのベッドコントロール)の向上	80	32.3%
5.病棟運営の効率化・活性化	116	46.8%
6.地域との連携強化	216	87.1%
7.情報収集	166	66.9%
8.スタッフ間のコミュニケーションの活性化	125	50.4%
9.クレームへの対応	142	57.3%
10.その他	10	4.0%
無回答	4	1.6%
合 計	248	100.0%

患者家族に対して

	平成 19 年	
	病院数	比率
1.療養中の心理的、社会的問題の解決、調整援助	219	88.3%
2.退院援助	216	87.1%
3.社会復帰援助	158	63.7%
4.受診・受療援助	133	53.6%
5.経済的問題の解決、調整援助	198	79.8%
6.その他	13	5.2%
無回答	4	1.6%
合 計	248	100.0%

2-2-4 MSW必置の実現によって、MSW業務はどうか。(複数回答)

	平成 19 年	
	病院数	比率
1.院内での仕事が明確になる	183	73.8%
2.スタッフ数が増えて業務の広がりができる	90	36.3%
3.部門として独立できる	101	40.7%
4.給料に手当ががつく	35	14.1%
5.変わらない	20	8.1%
6.その他	19	7.7%
無回答	4	1.6%
合 計	248	100.0%

2-2-5 施設基準にMSWが必要とされた場合、妥当と考える配置基準

入院患者:MSW

	平成 19 年	
	病院数	比率
1. 30 : 1	21	8.5%
2. 40 : 1	20	8.1%
3. 50 : 1	80	32.3%
4. 60 : 1	41	16.5%
5. 70 : 1	18	7.3%
6. 100 : 1	49	19.8%
無回答	19	7.7%
合 計	248	100.0%

病棟・種別・病院：MSW

	平成 19 年	
	病院数	比率
1. 1 病棟：1MSW	94	37.9%
2. 1 病床種別（医療・介護・回復期等）：1MSW	77	31.0%
3. 1 病院：1MSW	38	15.3%
4. その他	19	7.7%
無回答	20	8.1%
合 計	248	100.0%

2 - 2 - 6 適任と考えるMSWの資格

（複数回答）

	平成 19 年	
	病院数	比率
1. 社会福祉士	172	69.4%
2. 社会福祉主事	44	17.7%
3. 相談員としての経験が()年以上ある人	68	27.4%
4. 資格は問わない	22	8.9%
5. その他	39	15.7%
無回答	6	2.4%
合 計	248	100.0%

平均 4.1 年